

令和 5 年度 松江駅周辺地域暴走族根絶対策推進会議 議事録

1 開催日時

令和 5 年 7 月 18 日（火）14:30～15:10

2 開催場所

白潟公民館 研修室

3 出席者

(1) 松江駅周辺地域暴走族根絶対策推進会議

白潟公民館長	松本 道博
朝日公民館長	田川 伊智子
白潟地区交通安全協会	鳴 教行
朝日地区交通安全対策協議会	松浦 明宏
白潟地区町内会連合会	西村 佳夫
朝日地区町内会自治会連合会	安原 眞之
昭和町町内会	武部 弘行
松江警察署松江駅前交番所長	今田 浩之
松江警察署交通捜査課	高橋 憲一
松江市交通安全対策会議	曾田 二郎

(2) 事務局

松江市総務課総務係交通防犯リーダー	高野 聖也
-------------------	-------

4 会議次第・議事録

(1) 推進委員の委嘱

議長に、白潟公民館長 松本 様を、副議長に、朝日公民館長 田川 様を選出。

(2) 議題

ア 暴走族根絶対策推進の過程について(高野交通防犯リーダー)

対策推進会議の過程については資料のとおり。また、「暴走族等について」という資料を 10 頁に乗せている。警察庁のホームページからの引用、県警への問い合わせにより作成したもの。

イ 最近の暴走族の情勢と松江警察署の交通安全に対する取り組み

(松江警察署交通捜査課 高橋警部)

現在、松江警察署管内には暴走族の団体の把握はない。しかし、単発的に爆音走行するバイクに関する通報があることを確認している。以前には、無免許でバイクを運転した少年や違法に改造したバイクを運転した少年を検挙している。また、近年は、SNS を利用して、見知らぬ者同士が集団となり暴走を刊行する状況があり、継続的な取締りが必要であると感じている。

【質疑】

問) 松江市外からも少年が集まっているとのことだが、どこに仲間がいるのか分かるようになっているのか。

答) SNS を利用してバイクという共通点で見知らぬ人とでもすぐに集まることができる。

問) 無免許でバイクを運転する少年は、どこで運転操作などを習得するのか。

答) 少年の先輩や仲間内で習得しているようだ。

問) 違法な改造とは、どのようなものがあるのか。

代表的なものが、マフラーの消音器を取り外すもので、その他に灯火類を規定外の色に変えるものやシートの長さを長くするものがある。

ウ 今後の対策について（松江市交通安全対策会議 曾田参事）

本推進会議が設置された平成 11、12 年ころは、全国でも 2 万 8 千人前後の暴走族が把握されていたが、現在は 121 グループ、約 5,800 人まで減少し、集団暴走回数も減少している。その理由としては、若者の自動車離れや金銭問題、検挙されるリスクなど様々な理由が考えられるが、その一方で、SNS による呼びかけで見知らぬ少年が集団暴走し、見物人も多数集まっていた。これは決して若者が自動車・バイクやそのスピードに無関心ではないということを象徴しているのではないかと。

一方で、「違法行為を敢行する旧車會」と呼ばれるグループは、近年横ばいで推移し、491 グループ、約 5,900 人が把握されている。

一部の他県においては、「初日の出暴走」や「成人式暴走」と銘打って、バイクや自動車を連ね信号無視や蛇行運転などの暴走行為が行われている。

同様の事件が松江で敢行されないという保障はなく、周囲の大人が兆しに敏感になり、いずれは交通社会に参加することになる若者に、正しい交通ルール、マナーを指導することが必要だと感じている。

これから秋にかけては、祭礼等のイベントも多く、野外に出かけることも多くなり、暴走行為、爆音走行が顕著となる時期でもある。

このような状況を踏まえ、暴走族、暴走行為に関する情報があつたときや、予兆が感じられたときには、警察に通報あるいは相談をするとともに、各機関が連携し、小さな芽のうちに対応することが何より重要と思うので、協力をお願いする。

(3) 意見交換

ア 自転車のヘルメットの着用について

自転車利用者の年代毎に自転車のヘルメットの着用率にばらつきがあるようだ。全年代において、ヘルメットの着用率の向上に向けた取り組みが必要である。

イ 今後の対策について

今後も各機関が暴走行為をさせない環境づくりに努めるとともに連携して対応していく必要がある。